



Vol. 94
2017.1.1

酉

明けましておめでとうございます

関係機関の皆様よりご挨拶をいただきました

経済産業省 製造産業局 自動車課

自動車リサイクル室長 **保坂明様**



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

新車販売の低迷や使用済自動車の排出台数の減少等を背景に、自動車リサイクルを取り巻く事業環境は年々厳しくなっておりますが、自動車リサイクル制度は環境変化にも適切に対応し、安定的に持続することが求められています。

本年は、一昨年産構審・中環審合同会議の提言を踏まえ、より安定的かつ効率的な自動車リサイクル制度への発展に向けて、3Rの推進・質の向上を始めとした各種取組を行動に移す大事な年となります。関係者の皆様におかれては、より一層のご理解とご協力をお願い致します。

日本ELVリサイクル機構会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課

リサイクル推進室長 **田中良典様**



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日本ELVリサイクル機構の皆様におかれましては、平素より自動車リサイクルの推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年9月には、法施行10年目の制度見直しに関する報告書で示された各種課題に対して進捗を合同審議会にて報告させていただきました。その中で、再生資源を活用した車種へのインセンティブや精緻解体に取り組む事業者へのインセンティブが議論され、今後、解体段階での資源回収の重要性が更に高まると考えております。自動車リサイクル制度の更なる進展に向けて、皆様の一層の御協力に期待する次第です。

末筆ながら、本年の皆様方の御健康と御多幸をお祈りして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

専務理事 **宮林克行様**



謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃から弊財団の活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は特に弊財団が主催しました「情報発信・共有の在り方等に関する検討会」におきまして貴機構様には多大なご協力を頂きました。本年、弊財団は自動車リサイクル制度の発展に貢献すべく、引き続き貴機構様をはじめ関係諸団体の皆様のご協力を仰ぎながら様々なテーマに精力的に取り組む所存です。

本年の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念致しますと共に、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。

一般社団法人 自動車再資源化協力機構

代表理事 **阿部知和様**



新年明けましておめでとうございます。平素よりフロン類・エアバッグ類の適正処理にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年審議会では、今後の取り組みの方向性として、「3Rの推進・質の向上」や「情報発信の在り方」等に加え、「エアバッグ類・フロン類の適正処理の徹底」が提言され、益々皆さまと自治体・当機構との連携が重要となってきていると認識しております。

当機構も皆さまと自動車メーカー等を繋ぐパートナーとして、適正処理に関わる情報発信及び推進活動に努めてまいります。日本ELVリサイクル機構の益々のご発展、会員の皆さまの更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



日本ELVリサイクル機構
代表理事の酒井より新年の
ご挨拶をさせていただきます



2017年を迎えて

明けましておめでとうございます。

新しい年が皆様にとりまして健やかな一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、過ぎました2016年を振り返りますと、一昨年来のスクラップ価格の暴落、使用済み車の発生台数の減少と私達の業界にとりましては、非常に厳しい経営環境の一年でした。

また、環境や資源の有限性の観点からより進んだマテリアルリサイクルの必要性が議論され、自動運転や新素材などの革新的な技術が大きな話題にもなり、近い将来私達が求められる新しい取り組みの方向性がはっきりしてきた年であったようにも思います。

もちろん新しい年の経営環境が改善してくれることを願っておりますが、高齢化や人口の減少による社会の変化は受け入れなくてはならない現実です。私はこのような現実をどうとらえるか、によって見えてくる将来が違ってくると考えています。高齢化や人口の減少による市場規模の縮小は避けられなくても、より成熟した市場形成や人口が減少することで一人あたりのGDPが大きくなることも考えられると思います。

厳しい経営環境に耐えることは、会社の体質をより筋肉質に鍛えるでしょう。一社の力では難しいことを協力してやるのがより必要になると思います。現状を改善するために、色々な工夫をしていかなければならない時代です。ELV機構はそのために皆さんの力で作った組織です。多くの知恵と力を合わせていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

2017年 元旦

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構

代表理事 酒井 康雄



日本ELVリサイクル機構 ニュースレター
(ELV Newsletter)

編集・発行責任者

日本ELVリサイクル機構
広報部会 部会長 永田 則男

お問い合わせ先

日本ELVリサイクル機構 事務局

〒105-0004

東京都港区新橋3丁目2-2

◆メール jaera-homepage@elv.or.jp

◆電話 03-3519-5181

◆FAX 03-3597-5171

◆HP <http://www.elv.or.jp/>

目次

新年のご挨拶

(関係機関の皆様より) 1

巻頭言 2

新年のご挨拶

(ELV機構代表理事より) ... 2

鉄スクラップ最新情報 3

行事予定・お知らせ 4

編集後記 4

巻頭言

明けましておめでとうございます。昨年は熊本・大分で震災もあり、高速道路も工事がまだ続いておりますが、少しずつ復旧に向かっています。全国の会員さまから温かいご支援をいただき、感謝申し上げます。本年は、酉年ですので、大きく羽ばたきたいと思います。九州ブロックでも活動を活発に行い、3Rの推進や情報発信に取り組んでいきたいと思っています。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

(広報部会 伊地知 志郎)

鉄スクラップ最新情報

2017年の鉄スクラップ業界の見通し

[提供/日刊市況通信社]

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



2016年の初めからしばらくは、以前から続く中国産の安価な鋼材および半製品の世界各地への流入が依然として大きな影響を与えていた。しかし中国鉄鋼メーカーは収益重視の方針にシフトし、年の後半にかけては実際に鋼材価格も上昇した。こうした流れから、大きな懸念事項だった安価なビレットの世界各地への拡散が一段落し、スクラップの市況も国際的に持ち直した。2017年にかけては、収益を維持したい中国鉄鋼メーカーが安値のビレットを大量に売り出すことは考えにくく、鉄スクラップ相場の暴落はないと考えられる。

日本鉄鋼連盟は「2017年度の鉄鋼需要見通し」を発表した。これによると、2017年度の鉄鋼内需は、「建設は、東京五輪関連をはじめ都市再開発・交通インフラ整備の加速による建設投資の拡大が見込まれる一方、人手不足による制約が懸念される。製造業は為替要因に左右されるため、企業の投資マインドは保守的になる可能性もあるが、省力化・省エネ化投資は堅調が見込め、総じて前年を上回ると見られる」と予測している。

また海外鉄鋼市場については、「中国の輸出増による世界的な需給緩和、通商問題の頻発が依然大きく影を落としており、鉄鋼輸出は、世界経済が緩やかな回復傾向を辿るものの、2016年度並みと想定される。輸入は、2016年度以降水準が上昇しており、今後も高水準が継続すると想定される」と予測している。

こうした事情を受けて2017年度の粗鋼生産は、「2016年度を上回る見通し。変動要因としては、世界的な政治リスク、急激な為替変動による外需の下振れリスク、原材料価格の上昇、人手不足による工事案件等の遅れ等が想定される一方、輸入材の圧力にも留意が必要である」という見解だ。

このように、2017年は前年に比べると鉄鋼需要が増加する可能性が高い。楽観視はできないものの、少なくとも1年前の状況と比べると、鋼材の引き合いもそれなりに増加すると考えられる。

また2016年の終盤にかけては原料炭の高騰が顕著で、スポット価格は11~12月にかけては一時1ト当たりFOB300ドルに達した。現在、一時の騰勢は収まっているものの、鉄鉱石供給の問題が一気に解決する見通しはなく、2017年にかけてもある程度高止まりするものと考えられる。また鉄鉱石などの原料相場も上昇が続いており、今後大きな値崩れがなければ、鉄スクラップの相場を下支えする遠因となる。

これらを勘案すると、原料となる鉄スクラップ市況は、2017年にかけては大勢としては値上がりのトレンドが考えられ、2016年終盤の価格水準を維持したまま2017年に突入し、その後は2万円台から3万円台を中心とした比較的堅調な推移となりそうだ。

(当記事はあくまで日刊市況通信社のひとつの見解です。記載情報によって生じたいかなる損害についても日刊市況通信社および日本ELVリサイクル機構は一切の責任を負いません。)

行事予定

1月の主な予定

1月 5日(木)

❁ 自動車工業団体
新春賀詞交歓会

1月10日(火)

❁ 日本鉄リサイクル工業会
賀詞交歓会

1月18日(水)

❁ 第10回 広報部会

1月21日(土)

❁ 九州ブロック会議

1月25日(水)

❁ 自動車リサイクル部品団体
賀詞交歓会



お知らせ



会員数 (2016年12月末日時点)

総数 553社 / 会員 527社、賛助会員 26社



会員名簿確認のお願い

事務局より、ELV機構会員の皆様へ会員名簿確認のお願いです。

以下のURLよりご自分の所属されている団体の会員名簿掲載情報(会社名・代表者名・住所など)に誤りがないか、ご確認くださいませようお願いいたします。

会員名簿 : <http://www.elv.or.jp/22-52-0.html>

地域団体経由で所属の方は日本地図上の所在都道府県を
部品団体経由で所属の方は左上の「部品団体」ボタンを
クリックすると名簿が開きます。

変更届 : <http://www.elv.or.jp/31-79-0.html>

掲載情報に誤りがあった場合は上記URLにある指定の
変更届に変更内容をご記入のうえELV機構事務局まで
ご送付ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
▼さて、昨今は我が業界含めてなかなか先行きの見通しが立たないといえますか、予測が付きにくい時代です。昨年末のある講演会で、「21世紀初頭の世界経済は、アメリカの経済学者ジョン・ケネス・ガブレイスが1978年の著作『不確実性の時代』で予測した通りの世の中になってきている」といった内容の講演をされました。いわゆる行き詰まった社会の様々な現象が表面化してきおり、例えば去年のイギリスのEU離脱、アメリカの大統領選挙といった事象などは象徴的といえると仰いました。そのような現象が世界各国で起こっています。▼お正月早々、なんとも不安を煽るような話題で恐縮です。けれども孫子が兵法書の中で「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」と述べているように、素晴らしい一年にするために世の中の情勢を知ることは大事な要件です。そのようなわけで、我々広報部会は皆様により有益な情報をお届けすべく、今年一年邁進して行きます。何卒、本年も機構共々ELVニュースレターをよろしく願い申し上げます。

(広報部会 部会長 永田 則男)